

# CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月  
発行日：毎月15日・月末  
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 17 No.11 2015年6月15日

## 製品・サービス動向-国内

### ■スターネット：次世代 any-to-any ミーティングプラットフォームサービス「STAR-anyMeeting」を提供開始

(取材：5月29日)

スターネット株式会社（大阪府中央区）は、次世代 any-to-any ミーティングプラットフォームサービス「STAR-anyMeeting」を5月20日より提供開始した。

STAR-anyMeeting は、HD テレビ会議多地点接続機能をクラウドサービスとして提供するもの。同社によると、そのサービスを提供するにあたり、ソフトウェア MCU を特長としている「Pexip Infinity」を採用したという。



#### STAR-anyMeeting クラウドサービス（スターネット）

既存のテレビ会議システムのほか、「Microsoft Lync 2013」「Skype for Business」「Cisco Jabber」といった UC クライアント、また、ブラウザでリアルタイムコミュニケーションが行える WebRTC にも対応しており、専用機から PC、スマートフォンやタブレットなど多くのデバイスをテレビ会議に接続することができる。

さらには、国内接続にとどまらず、海外拠点と国内拠点を結んだグローバル展開（分散 MCU 設置）にも対応する。国際ネットワーク間の帯域抑制と広帯域のバックボーン回線により、安定した通信品質を実現する。

「STAR-anyMeeting は、場所・接続数・メーカー・機

種・方式にかかわらず、どんな (any) 会議もつながる、つなげる会議システムだ。ユーザの環境に合わせた新たなコミュニケーションインフラとして活用いただける。」  
(スターネット)

同社によると、内蔵 MCU や外付けの MCU をすでに活用しているユーザで、低コストかつ簡易にシステムの拡張を行いたいと検討しているユーザや、テレビ会議と Web 会議とのスムーズな相互接続を行いたいと考えているユーザ、あるいは、短期間の利用を低コストで行いたいというユーザなどを想定しているという。

やはり内蔵 MCU や外付けの MCU などを新たに導入するとなると、コストや導入の手間、運用などの負担は大きい。その点、クラウドサービスで提供される STAR-anyMeeting は、契約内容にもよるが、月額費用で最低1か月から利用できるようになっている。



#### STAR-anyMeeting、タイプAとタイプC（スターネット）

STAR-anyMeeting は、ユーザの利用の仕方でも2つのサービスを提供する。ひとつは、共有サーバをインターネットから接続して外出先や社外との利用に便利な「タイプA」。もうひとつは、専用サーバ（専用 MCU）を閉域ネットワークから接続してよりセキュアにテレビ会議を利用する「タイプC」。ただし、ゲストアクセスと

してインターネットからの接続も可能だ。

タイプ A あるいはタイプ C いずれにしても、基本的に「動的会議室」を提供する。会議予約（日時や参加者数）に応じて随時設定される仮想会議室を指す。ただし、タイプ C では、常時利用可能な「固定会議室」も利用することが可能だ。いずれも、セキュリティの観点から、パスワード（1 回限りの使用）により入室可能な形になっている。

会議中は、資料共有をまじえた遠隔会議が行えるが、その際の画面レイアウトは、1+7 単画面（話者切替）に対応している。会議予約については 15 分単位で可能で、タイプ A では、スターネット会議予約サイトを利用するかたちで、タイプ C では、別途オプションとなっている。

月額料金について。タイプ A は、初期費用が 100,000 円。月額費用は、基本料金：10,000 円/月と従量料金：60 円/分・ポート。一方、タイプ C は、初期費用が 100,000 円。月額費用は、基本料金：30,000 円/月とポート料金：20,000 円/月・ポートとなっている。なお、最低利用期間については、タイプ A は 1 か月、タイプ C は 1 年となっている。利用を検討するにあたって、二週間のトライアルの利用もできる。

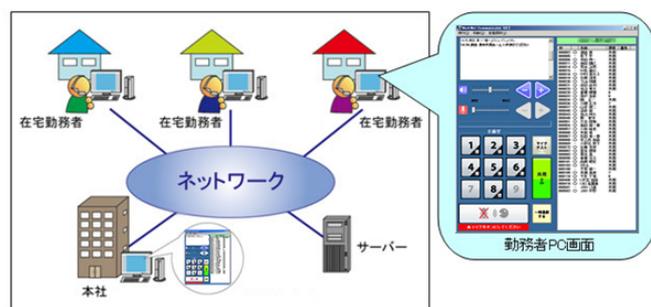
サービス提供時間は基本的に 365 日 24 時間。サポート窓口は平日 9:00 から 17:00 まで。

スターネットは、これまで 30 年にわたり数多くの国内外ネットワークの構築や運用に携わってきた。その豊富なノウハウと実績にもとづき、回線・機器の設計および調達、構築作業、運用保守などワンストップで提供してきた。また一方で、テレビ会議や Web 会議システムの導入実績も豊富にあり、ネットワークから端末までトータルな提案ができるのが同社の強みという。

今後は、ラインナップの追加などユーザのニーズに応じてサービスの強化を行っていくとしている。

## ■沖ワークウェル：多地点音声コミュニケーションシステム「ワークウェルコミュニケータ」の機能を強化、100 地点同時接続が可能

株式会社沖ワークウェル（東京都港区）は、多地点音声コミュニケーションシステム「ワークウェルコミュニケータ」の機能を強化し、6 月 1 日より提供開始した。（6 月 3 日）



### ワークウェルコミュニケータシステム概要（沖ワークウェル）

ワークウェルコミュニケータは、在宅勤務など離れている拠点間のコミュニケーションを支援するツールで、常時接続によりタイムリーな情報共有や他のメンバーの状況が把握できるようになっている。また、用途に応じて利用者全員同時通話、バーチャル会議室を使用した個別打ち合わせを行うことができるとともに、その際に、発声困難な人は標準的な会話文を登録した自動発声機能を利用できるようにもなっている（オプション）。

特徴としては、OKI のユニバーサルデザインの考え方を応用し、使い勝手を十分に考慮したユーザインターフェイスとなっている。また、音声通話に特化しているため、ネットワークの負荷が少なくモバイル環境でも利用できる。さらに、システムの接続ログファイルから勤務管理が行え、在宅就労の労務管理が容易だ。

今回の機能強化では、同時接続数の拡大（100 地点同時接続）やバーチャル会議室の数の増加に加え、ユーザープレゼンス表示の優先度設定を可能にしたほか、画面のレイアウトも従来よりも見やすいものに変更するなど、利用者のニーズに対応した。

沖ワークウェルは、ワークウェルコミュニケータを通

じて企業の在宅勤務などを支援していくとしている。

## ■ロジクール：法人向け小規模から中規模テレビ会議・Web 会議に適したカンファレンスカメラ発売

(6月4日)

株式会社ロジクール（東京都港区）は、法人向けの小規模から中規模の会議に適したカンファレンスカメラ「ロジクール カンファレンスカム コネクト」(CC2000e) を 6 月 11 日から販売開始する。



### カンファレンスカメラ CC2000e (ロジクール)

CC2000e は、持ち運びが簡単で、1名から6名程度の部屋における会議に適したサイズ。Windows や Windows8、MacOS X の各 OS で動作する「Microsoft Lync 2013」、「Cisco Jabber」「WebEx」「Skype」などあらゆるテレビ会議システムに対応。

ワイドスクリーン対応で90度の広い視野角で会議室をカバーできる。また、4倍デジタルズーム、オートフォーカス機能付きカールツァイス社製光学レンズ搭

載（画像センサ：300万画素、1080p30fps）により、クリアな画面を実現している。加えて、スピーカーからの音声は、360度全方向に広がり、カメラから約3.6メートル離れていてもエコーやノイズのないクリアな音声を実現している。

そのほか、Wi-Fiなどのネットワーク環境のない場所でも、ワイヤレスで接続し、Windows8以降のパソコンやAndroid 4.3以降のスマートフォンやタブレットのコンテンツを大型画面にミラーリング表示して共有することが可能となっている。ただし、iOS および Mac OS X は非対応。

CC2000e は、AC アダプタ、バッテリーの両方の電源に対応しており、バッテリーではテレビ会議時に約3時間、スピーカーフォン使用時には約15時間まで使用が可能になっている。なお、バッテリー残量はLEDインジケーターで確認ができるようになっている。

販売は、ロジクールオンラインストアおよび正規販売代理店より法人向け製品として販売する。価格はオープンプライスで、ロジクールオンラインストア価格は70,000円（税抜）となっている。

## ■NTT コミュニケーションズ：SkyWay を用いたスマートフォンアプリ用 WebRTC 機能開発キットを無償公開

(6月5日)

NTT コミュニケーションズ株式会社（東京都千代田区）は、WebRTC プラットフォーム「SkyWay」を用いた国内初の iOS/Android アプリ用開発キット「SkyWay iOS/Android SDK」を6月5日から提供開始する。SkyWay は、2013年12月に国内初の WebRTC プラットフォームとして公開を開始して以来、パソコン向け Web ブラウザなどの Javascript が動作する環境で利用可能な開発環境を提供している。これまでの開発登録数は1,800を超え、コンタクトセンタ向けサービスやビデオ会議サービス開発、ロボットの遠隔操作、オンライン

家庭教師サービスなどさまざまなシーンで活用されている。

従来、iOS/Android 向けのネイティブアプリに WebRTC の機能を実装するためには、シグナリング用のサーバ構築に加えて、開発者自身が WebRTC ライブラリを構築する必要があった。

一方、今回発表された SDK は、SkyWay として提供している WebRTC のライブラリやシグナリングサーバをスマートフォン向けのアプリ開発においても利用できるようにするもので、P2P の映像・音声コミュニケーション機能やデータ通信を手軽にアプリに組み込めるようになるという。

NTT コミュニケーションズは、これからもアプリ開発者と連携しながら、社会を変革するようなイノベティブなサービスの創出を目指すとしている。

## ■NTT アイティ：ペーパーレス会議 ASP サービス「MeetingPlaza ペーパーレス会議」を全面リニューアル

(6月9日)

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、ペーパーレス会議 ASP サービス「MeetingPlaza ペーパーレス会議」を全面リニューアルし、ASP サービスとして6月15日より提供を開始する。

NTT アイティの MeetingPlaza は、4,000 社を超える導入実績をもつオンライン会議システム。2015 年 4 月にオンプレミス版の新しい MeetingPlaza ペーパーレス会議の提供を開始した。通常会議の資料配布や講演形式の会議のほか、電話会議/テレビ会議との併用などで利用できるサービス。

今回の前面リニューアルは、初期費用をおさえ手軽に利用したいというニーズを受けてのもので、ASP 版についても大幅改良した新しい MeetingPlaza ペーパーレス会議を提供開始する。

新しい MeetingPlaza ペーパーレス会議では、電話会

議・講演形式の会議などの利用シーンで使いやすく、より効率的な会議運用ができるようになっている。これにより、参加者は、紙資料のような手軽で直感的な操作に加え、パソコンやタブレットならではの便利な利用が可能となった。また、専用のソフトウェアが不要で Web ブラウザさえあれば利用でき、参加者の準備が少ないのが特長という。

新サービスの主な機能としては、「プレゼンター指名」「共有メモ書き込み権限の設定」「プレゼンター権限の設定機能」といった司会進行管理機能のほか、以下のような、会議運営のスムーズな進行を助ける豊富な機能も提供している。

(1) 閲覧に必要なのは Web ブラウザのみで専用アプリは不要。(2) 会議に参加するための専用 URL/QR コードの生成。(3) 手書きメモ・ふせん情報の保存・他者との共有。(4) ワンポイントに強調したいときに便利なレーザーポインタ。(5) IP アドレス制限/パスワード設定。(6) 「予約型会議」や「常設型会議」など用途に応じて会議形態を選べる。

価格について。初期費用は 5 万円。月額基本料金は 4 万円/20 接続より(税別)。その他、接続数の追加、ストレージ容量追加、同時利用会議室追加などのオプションについては別途問い合わせ。

## 製品・サービス動向-海外

### ■マイクロソフト：法人向け大画面コラボレーションデバイス「Microsoft Surface Hub」の受注を7月1日より日本を含む24か国で開始

(6月10日)

マイクロソフト(米国・ワシントン州)は、法人向け大画面コラボレーションデバイス「Microsoft Surface Hub (マイクロソフト サーフェス ハブ)」の受注を 7

月1日より日本を含む24か国で開始する。

Surface Hub は、「Windows10」、「Skype for Business」、「Office」、「OneNote」といった Windows ソフトのパワーを活用し、グループ向けにコンテンツや画面共有を最適化した新しいタイプの生産性向上体験を提供している。つまり、PC が個人向けの生産性を革新したように、人々が協業する方法を革新するもので、誰でもすぐに使うことができ、アイデアや情報の効率的な共有、迅速な意思決定などを実現する。

Surface Hub は、100か所のマルチタッチと最大3つの同時ペン入力可能な光学接着型ディスプレイを搭載のほか、1080pの前面ビデオカメラ2機ならびにビデオ会議において背景ノイズをキャンセルするための4機構成によるマイクアレイが統合されている。加えて、内蔵 Wi-Fi、Bluetooth 4.0、NFC、有線・無線接続オプションをサポートする。なお、「Surface Hub 55 インチ（予定参考価格：6,999 ドル）」と「Surface Hub 84 インチ（予定参考価格 19,999 ドル）」の2モデルを提供する。

マイクロソフトは、コラボレーションの領域を包括的にとらえ、Surface Hub をワークスペース革新の中核にしている。それを受けて、世界の多様なパートナーが販売支援を表明している。

なお、日本における具体的な受注および発売時期・価格・販売方法などについては、確定次第、日本マイクロソフトから発表の予定。

## ビジネス動向-国内

### ■日立ハイテクソリューションズ:英国 acano 社との協業を発表、次世代マルチコミュニケーションプラットフォーム acano ソリューションの国内販売開始

(6月2日)

日立ハイテクソリューションズ（東京都中央区）は、次世代マルチコミュニケーションプラットフォームを提供する acano 社（アカノ：イギリス、ロンドン）と販売代理店契約を締結し、日本国内での acano ソリューションの取り扱いを開始する。

acano ソリューションの特長は以下の通り。

- (1) H.264SVC、H.265、WebRTC などの新たな映像圧縮方式に対応し、フル HD(1920x1080)/60fps をはじめとする高解像度でのコミュニケーションを可能にする。
- (2) ビデオ会議端末のほかに、PC やタブレットなどさまざまなデバイスを活用でき、IP-PBX との連携により音声端末、Microsoft Lync との連携により「Skype for Business」および「Office365」とも接続が可能となっている。
- (3) acano 社製アプライアンスサーバ1台では、720p 解像度で最大 250 拠点接続が可能で、クラスタリング機能や冗長化などにも対応しており、大規模コミュニケーション環境の構築を強力に支援する。



#### acano ソリューション（日立ハイテクソリューションズ）

日立ハイテクソリューションズは、1999年よりテレビ会議システムなどビジュアルコミュニケーションシステムの販売を開始し、金融・製造・流通・製薬・サー

ビス・公共・学校など幅広いユーザのニーズに応じてきた。

今後 acano 社製品を提案ソリューションに加え、ビデオ・映像・Webなどを相互接続可能な次世代プラットフォームとして展開していくという。

## ■ブイキューブ：中東呼吸器症候群コロナウイルスに関する BCP 対策のため、Web 会議サービス「V-CUBE」を無償で提供

(6月4日)

株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）は、韓国で確認された中東呼吸器症候群（MERS＝マーズ）コロナウイルスへのBCP対策として、Web会議サービス「V-CUBE ミーティング」を無償で利用できるサービスを開始する。

対象は、MERS コロナウイルスが確認されている韓国に本社・支店・営業所といった拠点がある企業で、V-CUBE ミーティングを 10 拠点接続可能なプランで無償提供する。

期間は、MERS コロナウイルスが収束するまでで、世界保健機構（WHO）や厚生労働省の発表、ユーザの利用状況をもとに、提供期間について定期的に見直しを行う予定。

ブイキューブは、無償サービスの提供を通じて、韓国とのビジネス活動の継続に役立てていきたいと考えている。

## ビジネス動向-海外

### ■Vidyo 社：GENBAND 社、同社の UC ソリューションに VidyoWorks を採用

(6月4日)

Vidyo 社は、GENBAND 社（米国・テキサス州）が「VidyoWorks」を採用したと発表。

GENBAND 社は、サービスプロバイダー・企業・シス

テムインテグレーション向けに、リアルタイム コミュニケーションソフトウェア ソリューションを 80 か国以上で提供している会社。1999 年設立。

GENBAND 社は「GENBAND Smart Office Unified Communications (UC) ソリューション」に VidyoWorks を組み込む。これにより、GENBAND の UC のユーザは、ビデオ会議を行うために、新たにコラボレーションツールを別に (disparate) 導入したりする必要がなくなるとともに、電話通話から多地点のビデオ会議にシームレスに移行することが可能になる。加えて、それに伴う導入時のトレーニング・管理・サポートも不要 (eliminate) になるという。

## 導入・利用動向-国内

### ■日本マイクロソフト：総務省、マイクロソフト「Microsoft Lync(現 Skype for Business)」を導入、省内のテレワーク推進を強化

(6月5日)

日本マイクロソフト株式会社（東京都港区）は、総務省（東京都千代田区）が、省内のテレワーク推進を強化するために、全職員約 5,000 名に対して、マイクロソフトのコミュニケーション基盤「Microsoft Lync(現 Skype for Business)」を導入したと発表。

行政の ICT 化が進められる中、総務省は、平成 26 年 2 月にワークスタイル変革推進チームを省内に結成。このチームにより、テレワーク環境の整備などの検討が進むなか、従来の Web 会議システムにおいて以下のような課題があったという。

(1) 5,000 人の職員に対し同時アクセスが 100 名に限られていた。(2) 事前に会議の設定を行うため、参加者に ID など案内を配布する手間がかかった。(3) 総務省職員以外の外部の人との会議が行えない。(4) 音声の遅延が頻繁に発生する。(5) スマートフォンやタブレットからのアクセスができない。

これら5つの課題に対応するため、総務省は、平成27年3月末に、新日鉄住金ソリューションズ株式会社（東京都中央区）の支援のもと Microsoft Lync の導入を決定・導入した。

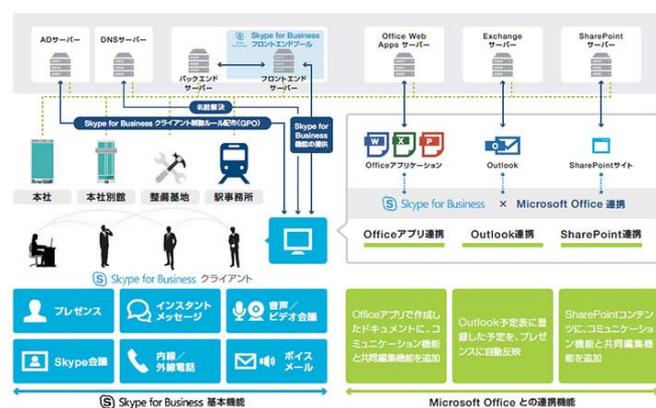
なお、総務省は、日本マイクロソフト主催の「テレワーク週間 2015」（8月24日から28日）に先駆けて、総務省みずからテレワークのさらなる促進のために、7月6日から10日までの1週間「総務省テレワークウィーク」を実施する。幹部職員の最低1回のテレワークの実践、全職員のうち500名のテレワークの実践を目指す。

>>総務省：<http://www.soumu.go.jp/>

## ■日立システムズ：東京メトロが「Skype for Business」を導入、多拠点間のコミュニケーションを効率化

(6月12日)

株式会社日立システムズ（東京都品川区）は、東京地下鉄株式会社（東京都台東区、東京メトロ）がマイクロソフト社製品の「Skype for Business」を導入したと発表。



### 東京メトロユニファイドコミュニケーション構成概要 (日立システムズ)

東京メトロは、駅や整備基地など 300 以上の拠点を有しており、各拠点では事務職から技術職までワークスタイルの異なる職種の従業員約 8,700 名が分散して業

務に従事している。同社では円滑な業務運営のために従業員間のコミュニケーションを重視しており、電話やメールだけでなくさまざまな手段でコミュニケーションができる環境の構築を目指していた。

そこで、日立システムズの「NETFORWARD（ネットワークフォワード）ユニファイドコミュニケーションサービス」を通して、インスタントメッセージや Web 会議、プレゼンス機能などを統合的に利用できる Skype for Business を導入することで用途や状況に合わせた適切なコミュニケーションによる効率的な業務運営を実現した。

日立システムズは、2013年9月から NETFORWARD ユニファイドコミュニケーションサービスを提供しており、ツールの提供をするだけでなく、UC の効果を最大化するためのネットワークインフラの構築も提供している。また、マイクロソフト社から「Gold Communications コンピテンシー」という最高レベルの認定を取得しており、Skype for Business をよりよく利用するためのノウハウや保守技術を有している。今回も、これらの技術力とトータルなサポート力が評価され、本サービスが採用されたという。

>>東京地下鉄株式会社 <http://www.tokyometro.jp/>

## セミナー・展示会情報

<国内>

### ■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス「TeleOffice」体感セミナー

日時：6月24日（水）（水）14：00～16：00

※2015年9月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

### ■テレビ会議・PC・タブレット・Skype for Businessをつなぐ 新時代の多地点サーバ「Pexip Infinity」 無料体験セミナー

日時：6月16日(火)・17日(水)・19日(金)

午前の部 10:00～／午後の部 15:00～

会場：VTV ジャパンデモルーム（東京・大阪）

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1506vtv/>

### ■安定した映像・音声品質で、iPad でも快適！Web 会議システム「IC<sup>3</sup>」事例と活用セミナー

日時：6月18日(木)15:30～17:30（受付：15:00）

会場：キヤノンソフトウェア本社（東京都品川区）

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/298>

### ■IMS VoLTE/RCS の Quality of Experience(QoE)

#### 測定手法ご紹介セミナー

日時：6月24日(水) 13:00～17:00（受付：12:30）

会場：東陽テクニカテクノロジインターフェイスセンター（東京都中央区）

主催：株式会社東陽テクニカ

詳細・申込：<https://www.toyo.co.jp/page.jsp?id=21564>

### ■次世代店舗『対面応対型電子店舗』で売上増大を！

日時：6月25日(木) 18:30～19:30

会場：Web セミナー

主催：ニューロネット株式会社

詳細・申込：<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

### ■次世代コミュニケーションセミナー

～システム検討をワークスタイル革新のチャンスに～

日時：7月1日(水) 14:30～17:10（受付：14:00）

会場：シスコシステムズ大阪オフィス

主催：シスコシステムズ合同会社、ユニアデックス株式会社

詳細・申込：

[http://www.uniadex.co.jp/event/2015/20150701\\_ciscouc-osaka.html](http://www.uniadex.co.jp/event/2015/20150701_ciscouc-osaka.html)

### ■ビデオ会議ソリューション・テクニカルセミナー 2015

日時：7月3日(金) 13:30～17:00（受付開始 13:00）

会場：NTT-AT プレゼンテーションルーム（川崎市幸区）

主催：NTT アドバンステクノロジー株式会社

グローバルプロダクツ事業本部

メディアコミュニケーションプロダクツビジネスユニット

詳細・申込：

<http://ngw.ntt-at.co.jp/product/video/eventseminar/20150703.html>

※インフラ系製品が主なテーマ。シスコ、ファーウェイ、ポリコムによる各セッション。またシード・プランニングによる市場動向についての講演やメーカー3社によるポスターセッションもあり。

### ■CIAJ えくすぱーと・のれっじ・セミナー：

N E C ビデオコミュニケーションクラウドサービスの紹介

日時：7月6日(月) 13:00-14:30

会場：CIAJ C～E 会議室（東京都港区）

主催：一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）

詳細・申込：<https://cp11.smp.ne.jp/ciaj/seminar>

国内その他：<http://cna.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cna.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Web の方の情報もご参照ください。

## アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2015年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

## 情報発信について

CNA レポート・ジャパン（橋本啓介）では、国内外における遠隔会議システム（テレビ会議・Web 会議・電話会議・ユニファイドコミュニケーションなど）に特化した情報配信を

行っています。

その情報配信のためのリサーチにおいては、企業やセミナー・展示会の取材などのほか、「製品・サービス」「ビジネス」「ユーザ導入・利用」「決算発表」「人事発表」「市場統計データ」「セミナー・展示会」といった観点から、インターネットに公開されている、各社のプレスリリースやお知らせ、ニュースメディアサイト、ポータルサイト、ブログ、掲示板、youtube、メルマガ、Linkedin、Twitter、Facebook、google+などに掲載されている遠隔会議関連の情報を日々収集しております。

収集された情報の中で、市場トレンドを見ていく上で参考になると思われる情報をピックアップして配信しています。皆様ご自身の情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

**定期レポート(15日・月末発行)**:各社からのプレスリリース、CNAレポート・ジャパンの取材による記事のみ。

**Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック&Twitter** (それぞれほぼ毎日配信):定期レポートであつかつている各社からのプレスリリースや取材を含む、遠隔会議システムに関する情報全般。

詳細は、<http://cnar.jp> 「情報配信について」をご覧ください。

**CNAレポート・ジャパン2015年6月15日号おわり**

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)